

CASBEE 広島 2016年版
 広島学院中学校・高等学校校舎校舎建替え等整備工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40	-	-	2.8
1 音環境		2.8	0.15	-	-	2.8
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音		2.6	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		2.0	0.20	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		2.0	0.20	3.0	-	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.60	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境		3.4	0.25	-	-	3.4
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-	
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御	ブラインド等により昼光を制御	4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度	500lx以上の照度を確保した照明計画	4.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境		3.6	0.25	-	-	3.6
4.1 発生源対策		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	建築基準法規制対象外となる建築材料を採用している	5.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気		3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		1.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.2
1 機能性		3.7	0.40	-	-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	普通教室は2.93mの天井高で計画	5.0	0.50	3.0	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画	レベル5の取り組みをしている	5.0	0.50	-	-	
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	レベル4の取り組みをしている	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.9	0.30	-	-	2.9
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高は1Fが5.3m、2~4Fは3.85mで計画	4.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率を0.19程度とすることで、空間の形状・自由さを確保	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			2.2	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		1.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		1.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			[BPI][BPI _m]を0.8以下とすることで、熱負荷を低減	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m]: 0.74	3.6	0.50	-	3.6
4 効率的運用				2.5	0.20	-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水型の大便秘器、擬音装置	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.60	-	2.8
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体と仕上材が用意に分別可能、内装材と設備の取り外し可能	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		-	-	-	-	
3	冷媒		3.0	1.00	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率を一般的な建物と同等にする	3.7	0.33	-	3.7
2 地域環境への配慮				2.3	0.33	-	2.3
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.4	0.33	-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				1.6	0.40	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	